

いつも身近な存在でありたいと思っています

# 会宝通信 ~KAIHO Communication~

第203号

発行日 2018年11月1日発行

## プラスチック破碎洗浄機

皆さまこんにちは、社長の近藤です。自動車に使用されるプラスチックは、再資源の原料として非常に価値のあるものですが、いざ回収しリサイクルしようとしても、部品が大きく複雑な形をしているので、1回に運べる量が限られ、輸送コストがかかり、リサイクルが進まないのが現状です。

一度に多くのプラスチックを運ぶためには破碎して減容する方法が一般的ですが、現在普及している破碎機は大型なものが殆どで、我々のような1日に数百キロしか発生しないような業種には完全にオーバースペックであり、導入は進んでいません。しかし、弊社会長の「船の舳先になる」という思いのもと、「無いなら作ってしまおう」と昨年4月にプロジェクトを発足し、様々な協力を頂きながら、この10月に破碎洗浄機1号機が完成しました。

今回手がけた破碎機のコネプトとしては、

- ①小型であること、②稼働音が静かであること、③Web上で破碎データが共有できること（KRAシステムと連動）を当初より掲げてまいりました。

まず小型に設計することで作業動線の短縮を図りました。また、破碎機本体をフォークリフトで移動

が出来る為、工場のレイアウト変更に対しても柔軟に対応出来ます。稼働音に関しても特殊な防音設計を行い、耳栓を使用しなくても良い程の音量を実現しました。そしてKRAシステムとの連動ですが、どの車輻から回収したプラスチックが、どのフレコンに入っているかを紐付ける事で、ロット単位ではありますが、車輻からのプラスチック回収率がリアルタイムで集計する事が出来ます。もし、この破碎洗浄機が普及すれば、日本の自動車からどの程度のプラスチックが回収されているかが一目で解るようになります。

プラスチックもシュレッターに掛けられてしまえば種類ごとに分別する事は難しくなりますが、手前の工程である我々が選別し、リサイクル原料として流通させる事でリサイクルの幅が更に広がる事を願っております。



# ★ 10月14日「金沢城リレーマラソン2018～秋の陣～」秋も走りました！！ ★

みなさんこんにちは。私たちは10月14日(日)に金沢市で開催されました、「金沢城リレーマラソン2018～秋の陣～」のハーフ部門に参加しました。大会当日は天候に恵まれ、約2,600人のランナーが紅葉の始まった金沢城を走りました。会宝産業としてリレーマラソンに参加するのは3回目で、今回は「TEAM KAIHO生産部」と「TEAM KAIHO AB3」の2チームが参加しました。気になる結果は、95チーム中TEAM KAIHO生産部：8位、TEAM KAIHO AB3：45位という結果になりました。

今回大会に参加した21名中、9名が初参加でしたが、皆さんリレーマラソンを楽しんでいただけたのではないかと思います。

リレーマラソンの楽しさは色々ありますが、私が特に良いなと感じているのが、みんなで声を掛け合って応援ができるということです。社員の応援をするのはもちろんですが、それ以外の方にもみんなで応援をします。会場にいる全員が仲間のように感じられた1日でした。(担当：安部)



## 農業の取り組み ～農業事業部より～ 【❄️ 冬支度 🧊】



お客様に喜んでいただけるトマトを作るために、どんなことに気を配って栽培と向き合ってゆけばよいのだろう・・・と試行錯誤、研究の日々です。美味しいトマト作りに大切なものとは一体なんのでしょうか？皆さんはどう思われますか？情熱と愛情を持って育てることが改めて大切だなと感じています。そして想いだけでなく、知識や技術も必要です。夏の農繁期を終え、メンバーで自分達の農園を見つめ直し改善点を出し合ったり、先進農家さんの技術を学ぶ機会を設けたりしています。自らが生産技術の向上をはかることでお客様に美味しいトマトをお届けしよう！という決意を新たにしました。

さて、2018年も残すところあと2カ月・・・一年があっという間に過ぎていくなと感じている会宝農園メンバーです。暑い夏がつい最近のようでしたが、ふと気がつく朝晩は、肌寒い日も度々あり、冬の到来を予感させます。トマトの生育にとって適切な温度は重要で気温が低すぎると病気になったり、最悪の場合枯死してしまいます。周年栽培に取り組む会宝農園の強い味方・・・それが「廃油温風機」です!!今年も出番がやってきました。まずは清掃と試し焚きを実施。温風機のかも借りて、この冬も美味しいトマト作りに励みます！

(担当：田中)

廃油温風機

温風機清掃風景

炉内Before

炉内After



★当社では自動車をリサイクルする際に廃油が回収されます。それを熱源としてハウスを温めているのです！まさに資源の循環！そんな地球環境にも優しいハウスで育ったしあわせのトマトはいかがですか？

【会宝農園インターネットショッピングサイト】 <http://agribalance.jp/>

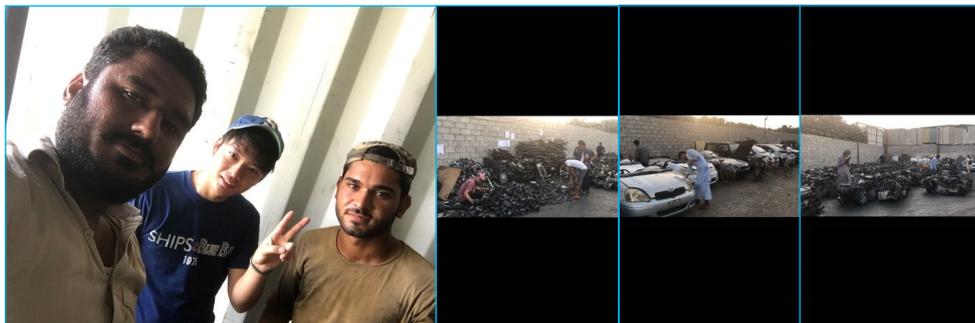


皆さまこんにちは。Kaiho Middle Eastの畳谷です。こちらの季節も日本でいう秋になり最高気温が35度、あの一瞬で汗まみれになっていた着任後の時と比べるとだいぶ働きやすくなってきました。ですが、自宅ではまだまだエアコンと扇風機とのお付き合いが続く予定です。

近頃お客様の対応をしておりますと、パキスタンやアフガニスタンの方から“日本での労働ビザが下りない”ということをよく聞きます。現地の調べでは2020年に日本で開催されるオリンピックに向けて入国を制限しているという話を耳にしました。少なからず、オリンピックの影響が既に出ているのかもしれないですね。

さて、10月のオークションの運営実績ですが、第155回/2本、第156回/4本、第157回/2本の計8本のコンテナでの開催となりました。コンテナの本数はやや少ない印象ですが、シャルジャマーケットも全体的に悪天候による船便の遅れからコンテナの到着が遅れており、売上げがづくりにくい月となりました。しかしながらKMEでは156回のオークションで4本分の商品を出品することができ、来客数は155回の29社に比べ、41社と12社も増え、良い盛り上がりを見せました。KMEではこれまで出品していなかった商品の紹介と価格の発信、新規顧客の獲得に力を入れております。11月は10本以上のコンテナで開催する予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

※写真は入札会の風景です。



## 今月のパチリ☆

こんにちは。10月14日に行なわれた「金沢城リレーマラソン」に会宝産業から2チームが参加となり、今回も応援に行ってきました。秋晴れのとっても良い日になりました。春の陣の時は雨で寒くて大変だったので、今回はとても暖かくて良かったです。金沢城公園の黒門口近くの場所を陣取り、走者の行きと帰りの両方を応援できる良い場所で、みんなで盛り上げました。今年は2チームなので応援も忙しかったように感じましたが、走る姿って素敵だなあと感じました。次回！春も楽しみです。（担当：宮村）



## 相場情報 ~生産部より~



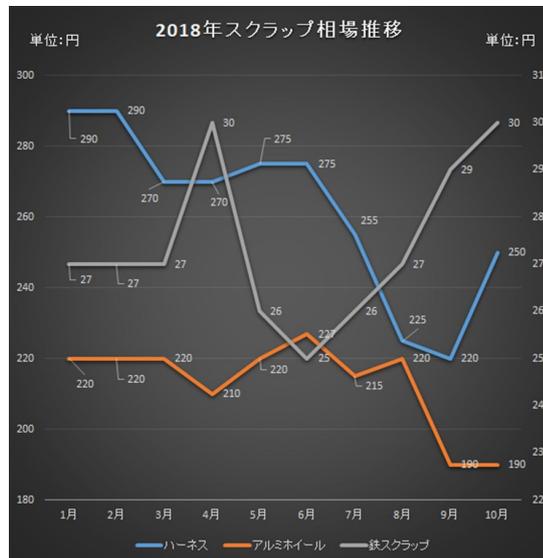
2018年10月実績

入庫台数 1,036台

処理台数 910台

こんにちは会宝産業の山口です。北陸では特有の低い雲が広がり、冬の訪れを感じる季節となりました。さて、10月の鉄スクラップ相場は小幅な値動きが各地で散発しましたが、これは、地域によって荷動きやスクラップの発生にバラつきがあった為の調整だと言われています。国内の電炉生産は8月までは前年実績を上回っていましたが、9月に入り前年実績を下回る結果となりました。しかし、近年の生産量で見ると9月、10月とも高い水準にあるため、大きな下げの要因は今のところなく、昨年は海外相場に引っ張られる形で国内の相場が上下していましたが、今年は特に海外よりも国内の方が高い傾向にあります。

消費税増税や、オリンピック等景気を左右する材料がこの先控えているので、国内高の状態でも景気後退となり、スクラップ相場が下がると海外へのスクラップ輸出が始まります。そのような懸念を前に海外相場を見ておき、予め先の動きを考えておく必要もありそうですね。



## 今月のトピックス

### ~ 安全は何よりも優先する ~

「安全は何よりも優先する」この言葉は創業者である、弊社会長の口癖です。そんな思いもあって、弊社では毎朝全社員でラジオ体操を行っています。準備をしっかりとすることで、事故や怪我の防止に繋がっていきます。

そして先月は、年に1回実施する消防訓練がありました。当日は消防署の方にもお越しいただき、消火器の使い方を丁寧に教えていただきました。今年入社の新社員を中心に、やったことがない人は必ず実際に消火器を使ってみます。やってみると難しくないことがわかりますが、それはやってみただけから言えることです。

そしてさらに、訓練をしたからといっていざと言う時にできるわけでもありません。だからさらなる訓練や準備や心構えが必要だということを、改めて感じました。

毎年1回の消防訓練ではありましたが、日常業務にも繋がる、良い学びと気づきの機会となりました。(担当：佐藤)



会宝産業株式会社 国内業務部  
〒920-0209 金沢市東蚊爪町1丁目21-2

車両課 (車両引取り・査定)

TEL 076-237-5347

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

部品課 (部品注文/担当:大森・角島)

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp (担当:宮村)

